

第 2 次静岡市地球温暖化対策実行計画の基本目標等の変更について

第 2 次静岡市地球温暖化対策実行計画の基本目標は、第 3 次総合計画及び第 2 次静岡市環境基本計画をはじめ他計画と整合を図っている。このような中、昨年度は、第 3 次総合計画の計画期間（2015～2022）中間年にあたるため、全庁的に指標の見直し作業に着手した。また、個別計画においても改定作業に取り組んでいた。これら他計画の見直し作業や改定作業により各種指標が変更されるため、本計画も基本目標等を変更するものである。

分野	No.	指 標	現状 (H30)	目標 (H34)	変更の有無	変更理由	新指標	現状 (H30)	目標 (H34)
基本目標①	1	市民及び事業者の電気使用量の削減量	現在、算出不可	8%削減	指標の変更	従前の電気使用量の削減量については、一般市民が一番分かりやすい指標として掲げていたが、電力自由化以降大手電力会社から電気使用量のデータが提供されなくなったため、現在数値の算出できていない このため、省エネルギーに取り組む市民の割合を増やしていくことで温室効果ガスの削減につながることから「省エネルギーに取り組む市民の割合」に変更する	省エネルギーに取り組む市民の割合	57.8% (H30)	62.4%
	2	自動車走行空間整備延長	185.4km	259.7km	変更無	—	自動車走行空間整備延長	185.4km	259.7km
	3	市民一人1日当たりのごみ総排出量	935g/人日	860g/人日	目標値の変更	一般廃棄物処理基本計画の見直しの中で、これまでの削減量を踏まえ新たな目標値を設定	市民一人1日当たりのごみ総排出量	935g/人日	856g/人日
基本目標②	1	市内の電気消費量に対する再生可能エネルギーの構成割合	23.4%	23.6%	指標の変更	再生可能エネルギーの導入容量の拡大を図るための指標として設定したが、H25年度の電気使用量を分母として設定していたため、正しい表現で指標を設定する。	再生可能エネルギーの導入割合 (H25年度電気使用量比)	23.4%	23.6%
	2	地域おこしを軸とした導入の推進	2箇所	3箇所以上	変更無	—	地域おこしを軸とした導入の推進	2箇所	3箇所以上
基本目標③	1	防災スマート街区の形成	0箇所	4箇所	指標の変更	当初、象徴となる街区を形成することを指標としていたものの、地震や台風による大規模停電発生の際には、改めて各家庭内で分散型エネルギーの導入の必要性を感じたため、市民の皆さんに分かりやすい指標として分散型エネルギーを確保した住宅の割合を指標として設定する	分散型エネルギーを確保した住宅の割合	18.3% (H30)	20.0%
	2	水素ステーションの建設	1箇所	1箇所	変更無	—	水素ステーションの建設	1箇所	1箇所
	3	次世代自動車（EV、PHV、FCV）普及台数	1,597台	2,130台	変更無	—	次世代自動車（EV、PHV、FCV）普及台数	1,597台	2,130台
基本目標④	1	気候変動に対応するための体制整備	庁内勉強会 施策整理	整備	変更無	—	気候変動に対応するための体制整備	庁内勉強会 施策整理	整備
	2	森林整備面積	28,684ha	28,930ha	変更無	—	森林整備面積	28,684ha	28,930ha
	3	市民一人当たりの都市公園面積	6.51㎡/人	8.0㎡/人	変更無	—	市民一人当たりの都市公園面積	6.51㎡/人	8.0㎡/人